

教育目標：深く考え 遅しく生きる

誇りの持てる筑中にする

【教育理念】：「聴く学校」

めざす教師像：傾聴と愛語により、生徒の学びづくりと関係づくりを深める教師

めざす学校像：授業づくり、関係づくりを根幹とする学校

学校づくりのねらい

「聴く学校」を教育理念とし、「傾聴と愛語」、「協働的で探究的な学び」を通して、
自他を尊重する態度を養い、自己調整学習力を高め、「深く考え 遅しく生きる」生徒を育成する

「協働的で探究的な学び」=生徒が選び・考え・表現する学習

問題を設定する →問題について話す →解決策を考える →友と話す →解決策を修正する
→修正した解決策を伝える →振り返って今日の一番大切だと思うことを表す

めざす生徒像

- ・自分に必要な学習を自覚し、進んで取り組む生徒
- ・筋道立てて考え、気づいたことを適切に伝える生徒
- ・自分のよさを生かして、人の役に立とうとする生徒
- ・仲間のよさを尊重し、共に高め合おうとする生徒

教育課題

多様性を受容し 対話の質を高める

重点1 学びづくり

智恵を出し合わなければ乗り越えられない必然性・切実感のある問題・課題により対話を活性化する

学びづくりと関係づくり
の一体的な推進

重点2 関係づくり

生徒一人ひとりをかけがえない存在として認め、生徒間に生産的な人間関係を構築する

教育システム

○自律した学習者の育成

- ・自己調整学習力が高まる教育課程の編成と家庭学習への取り組み
- ・学習カード、ICT機器による振り返りの充実

○集団生活の充実

- ・自分と仲間の有用感が高まる活動
- ・集団の一員としての規範意識の高揚

○職員の研修の充実

- ・LG（ラーニンググループ）による授業づくりの研修の継続

○地域との協働

- ・CSふたむらを通して学校と地域が一体となった生徒の育成
- ・筑中りんどう会を通して学校・地域・保護者が一体となった教育環境の整備